

かいぎん

News-Release

令和4年3月31日

各位

株式会社 沖縄海邦銀行
〒900-8686 那覇市久茂地2丁目9番12号

第17次中期経営計画の公表について

株式会社沖縄海邦銀行（頭取：新城一史）は、2022年4月～2025年3月の3年間の計画期間とする「第17次中期経営計画 ～スピード&クイックレスポンス～」を策定しましたので下記の通りお知らせします。

記

1. 計画の概要

第16次中期経営計画「継続と深化」（計画期間：2020年4月～2022年3月）の終了に伴い、第17次中期経営計画を策定しました。

新たな中期経営計画では、基本方針に「あなたの明日へ全力支援」を掲げ、キャッチフレーズを「スピード&クイックレスポンス」とし、お客さまのニーズを的確に捉え、今まで以上のスピード感を持って対応して参ります。

また、DXの取組みを軸としたお客さまサービスの「かんたん」「ベンリ」を具現化することで、地域金融機関として地域に根ざしたより良い金融サービスを提供し続け、「お客さまのお役に立てる一番身近な銀行」を目指して行きます。

2. 計画期間

3年間（2022年4月～2025年3月）

※計画の詳細につきましては、別紙をご参照ください。

以上

《お問い合わせ先》
総合企画部 経営企画担当 高良、山田
TEL：098-867-2112（直通）

第 17 次中期経営計画の策定について

皆さまには、平素より私ども沖縄海邦銀行をお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。

取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少の進展、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大など、厳しさが一層増している状況にあります。

そうした中において地域金融機関は、感染症により影響を受けた事業者の資金繰り支援はもとより、地域経済の回復を後押しするため、多様化する企業ニーズに応じた伴走型支援を実践するなど、更なる金融仲介機能の発揮が求められています。

弊行はこのよう環境のもと、地域金融機関としての役割を果たすため、第 17 次中期経営計画「スピード&クイックレスポンス」（計画期間：2022 年 4 月～2025 年 3 月）を策定しました。

第 17 次中期経営計画では、弊行の経営理念である「地域密着」「健全経営」「人材育成」を礎として、基本方針に「あなたの明日へ全力支援」を掲げております。弊行の強みであるフットワークを活かし、今まで以上のスピード感を持って多様なニーズに応え、お客さま本位の良質な金融サービスの提供に取り組みます。

SDG s の活動においては、お客さまと地域の成長・発展に寄与することで持続可能な社会の実現に努めて参ります。

これからも沖縄海邦銀行は、地域に根ざしたより良い金融サービスを提供し続け、「お客さまのお役に立てる一番身近な銀行」を目指します。

2022 年 3 月 31 日

沖縄海邦銀行 頭取

新城 一史

第17次中期経営計画 (2022年4月～2025年3月)

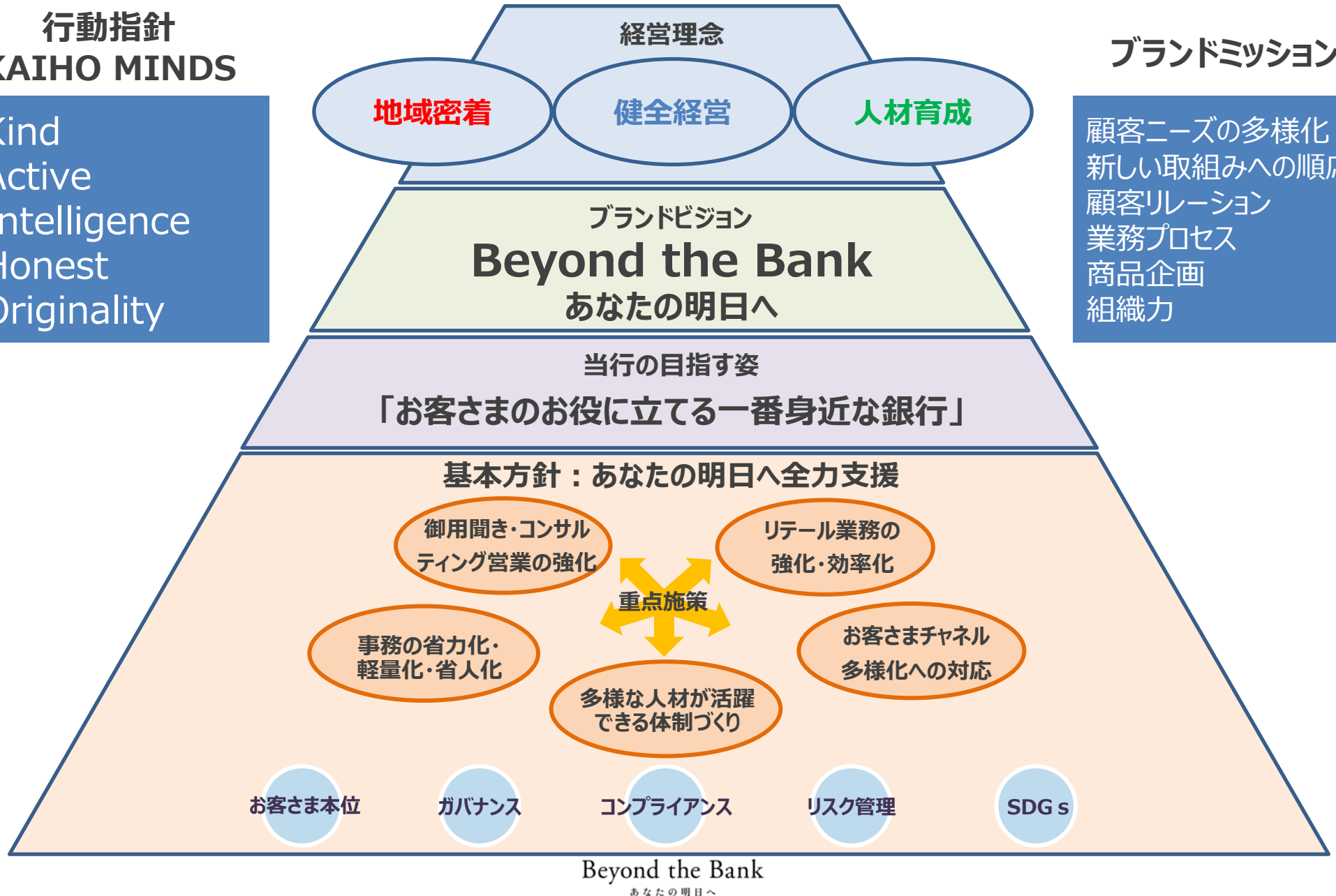
2022年3月

行動指針 KAIHO MINDS

Kind
Active
Intelligence
Honest
Originality

ブランドミッション

顧客ニーズの多様化
新しい取組みへの順応
顧客リレーション
業務プロセス
商品企画
組織力



基本方針	あなたの明日へ全力支援
キャッチフレーズ	スピード&クイックレスポンス
当行の目指す姿	お客さまのお役に立てる一番身近な銀行
計画期間	2022年4月～2025年3月（3年間）

重点 施策	【法人向け営業戦略】 1.御用聞き・コンサルティング営業の強化	個別 施策	①御用聞き訪問の実効性確保 ②コンサルティング業務の高度化 ③お客さまのIT化支援
	【個人向け営業戦略】 2.リテール業務の強化・効率化		①お客さまの資産形成支援 ②リテール営業体制の構築
	【事務戦略】 3.事務の省力化・軽量化・省人化		①店頭業務の機械化の促進 ②業務プロセスの見直し
	【人事戦略】 4.多様な人材が活躍できる体制づくり		①適正人員配置による生産性向上 ②金融プロフェッショナル人材の育成 ③働き方改革の推進
	【IT・店舗戦略】 5.お客さまチャネル多様化への対応		①利便性向上に向けたシステム対応・WEB化 ②お客さま接点の最適化

共通項目	お客さま本位の 業務運営	ガバナンスの強化	コンプライアンス の徹底	リスク管理の強化	SDGs
------	-----------------	----------	-----------------	----------	------

金融機関を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いている。

コロナ禍により大きく影響を受けた地域経済の復旧に向けた取組みが、より一層必要になることから、今後は地域のお客さまの未来へ向けた全力支援が求められる。

そのような中、当行は経営理念である「地域密着」「健全経営」「人材育成」のもと経営体制を強化し、お客さまの多様なニーズにスピーディに応え、お客さま本位の良質な金融サービスの提供に取り組んでいく。

また、近年SDG s の取組みがクローズアップされており、当行の活動についても経営理念に基づきサステイナブル（持続可能）な企業活動を展開する。

その結果、当行も安定的な経営基盤と収益を確保し、お客さまおよび地域の持続的な成長と発展に寄与できるものと確信する。

『スピード&クイックレスポンス』

第17次中期経営計画については、『スピード&クイックレスポンス』をキャッチフレーズに、感染症影響が依然残る中で『フットワーク』軽やかに、お客さまに寄り添い、課題解決に向けた営業活動を実践していく。

お客さま目線に立ち還ると、当行に必要なものは『スピード（速さ）』『クイックレスポンス（素早い反応）』であることを認識した。『お客さまのお役に立てる一番身近な銀行』になる為に、これまで以上の『スピード』を確保し、お客さまへ『クイックレスポンス』で応じるスタイルを目指す。

『お客さまのお役に立てる 一番身近な銀行』

当行の目指す姿は、引き続き「お客さまのお役に立てる一番身近な銀行」とする。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり時代は加速度的に転換しており、対面営業を重視しつつ、ITの活用による非対面営業をベストミックスすることで、お客さまが望む良質な金融サービスを提供することで『一番身近』と感じられる銀行を目指します。

『2022年4月～2025年3月（3か年計画）』

中長期（具体的には2028年3月末）を見据える中で、当行を取り巻く経済環境（外部環境）と強みと弱み（内部環境）を自己分析を行った。

今回の中期経営計画については、時代変化に適応できる営業の『体制』と、お客さまへよりスピーディな対応が出来る『しくみ』を構築し、成果を出す期間として、実施期間は3年間とする。

『スピード&クイックレスポンス』をキャッチフレーズに、お客さまの多様なニーズに応える態勢を構築する。